

宮城広瀬高等学校「部活動での指導ガイドライン」

区分項目		部活動（学校・顧問主導）
目的		学校教育活動の一環として、スポーツや文化に興味と関心をもつ同好の生徒が自主的、自発的に参加することにより、学習意欲の向上や自己肯定感、責任感、連帯感の涵養に資する。
意義		①同じ目的を持った仲間と学級や学年を越えて活動することで、人間性や社会性を磨くことができる。 ②自分の可能性を信じて限界に挑戦することで、困難を乗り越えようとするたくましい心を育てることができる。
運営		①学校（顧問）・保護者会・外部指導者（コーチ）の三者の連携と機能の分担による運営にあたる。 ②宮城広瀬高等学校「部活動での指導ガイドライン」に基づいた運営にあたる。
登録		◎全員登録 ※毎年4月末に登録 ※部活動の推奨
管理と指導		①学校（顧問）が指導・管理にあたる。 ②外部指導者（コーチ）が指導にあたる。
休養日・活動時間・朝練習・ハイシーズンの設定について	学期中	○週当たり2日以上以上の休養日を設ける。平日は少なくとも1日、土曜日及び日曜日（以下「週末」という。）は少なくとも1日以上を休養日とする。 ○週末に大会参加等で活動した場合は、別に休養日を確保するようにする。
	長期休業中	○学期中の休養日の設定に準じた扱いを行う。 ○また、生徒が十分な休養をとることができるとともに、部活動以外にも多様な活動を行うことができるよう、ある程度長期の休養期間（オフシーズン）を設ける。
	一日の活動時間	○原則、平日では2時間程度、学校の休業日（学期中の週末を含む）は3時間程度とし、できるだけ短時間に、合理的で効率的・効果的な活動を行う。 ○ただし、強化練習会、練習試合あるいは合宿等で終日活動する場合は、ハイシーズン同様、別に休養日を確保するようにする。
	朝練習	○朝練習については、原則禁止とする。 ○ただし、校長が、大会やコンクール等の前など特別な事情があると認める場合のみ限定的に朝練習を行うことができるものとするが、その場合も学習の始まる前の時間帯であることを考慮した内容や強度となるよう計画する。朝練習を申請する場合には、部活動時間外活動願を提出し、校長の許可を得る。
	ハイシーズンの設定	○年間を通して様々な大会があるが、高等学校総合体育大会や新人大会、東北大会・全国大会、各種コンクールなど目標とする大会で力を発揮するためには技能を強化する時期が必要であり、上記の基準だけでは生徒・保護者のニーズに答えられない現状がある。 ○したがって、このような時期は「ハイシーズン」として活動日及び1日の活動時間を増やし、その分、それ以外の時期に休養日を十分に確保し、生徒の身体的な疲労の蓄積やバーンアウト（燃え尽き）を防止するとともに、部活動に対する意欲の維持、向上に努めることが大切である。 ○その際には、恒常的にハイシーズンとならないように、生徒の教育上の意義、生徒及び顧問の負担軽減の観点から、参加する大会、コンクール等を精査する。
その他	○大会（高体連・高文連等主催）1ヶ月前からハイシーズンの設定を認める。この時期に時間外練習を申請する場合には、部活動時間外活動願を提出し、校長の許可を得る。 ○顧問は年間活動計画を作成し、年度初めに生徒及び保護者へ周知する。 ○指導・管理にあたる者が活動場所に不在の時や感染症等の流行、荒天等により生徒の安全確保が困難なときは活動を停止する。	
大会への参加		○下記の大会は、顧問・外部指導者（コーチ）が引率・監督を務め、指導・管理にあたる。 ※高体連、高文連主催の大会 ○上記以外の大会は、出場の有無も含めて、顧問・外部指導者（コーチ）が判断し、校長の許可を得る。
保険		①日本スポーツ振興センター（生徒は全員加入） ②全国高P連賠償責任補償制度（生徒は全員加入） ③スポーツ安全保険（外部指導者（コーチ））：費用は部活動後援会で負担

